

鳥取市は非核平和都市宣言をしています

(全文)

真の恒久平和は、人類共通の願望である。
しかるに近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。
わが国は世界唯一の核被爆国として、また平和憲法
の精神からも、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。
わが鳥取市は、日本国憲法に揚げられた恒久平和主義の理念を鳥取市民生活の中に生かし、継承していくことが、地方自治の基本条件の一つである。
したがって、わが鳥取市は非核3原則（作らず、持たず、持ち込ませず）が完全に実施されることを願いつつ、あらゆる国のあらゆる核兵器もわが鳥取市内に入り、貯蔵・配備・空中輸送・核部隊の通過を拒否するとともに、核保有国に対し、核兵器の廃絶を全世界に向かって訴える。
右宣言する。 昭和58年3月28日制定



3102)
問い合わせ先 総務課 (20
出しも行っていきます。
だくため、パネル写真の貸し
原爆の悲惨さを知っていた
ところ 市民図書館玄関ホール
日(日)
とき 八月一日(木)〜十一
り鶴の展示を行います。
訴えるため、パネル写真と折
市実行委員会は、非核平和を
非核平和都市宣言推進鳥取
は長崎市に原爆が投下され
八月六日は広島市、九日
さげましよう。

8月6日と9日は 平和の祈りの日



第17回 国民文化祭・とっとり2002
夢フェスタ とっとり通信
～ふるさと ふれあい 夢づくり～
平成14(2002)年10月12日～11月4日

夢フェスタ市民サポーターズ

かざり隊

街は花回廊 ～街を美しく飾りたい～



かざり隊 隊長
(鳥取TMO室長)
加藤 慎一郎さん

鳥取の四季は、とても美しい。だから、鳥取の街には四季折々の花が似合う。透きとおった空、澄みきった空気。都会で見られない雰囲気を持っています。そして、街並みには市民の手づくりによる美しいハンギングフラワーが飾られ、住む人、訪れる人の気持ち豊かにしてくれる。豊かな自然の中に生まれた、手づくりによる都市美。ちょっとゆとりを感じる鳥取ならではの情緒ではないでしょうか。



ハンギングバスケットコンテストのイメージ図

「かざり隊」は、国文祭開催に向けて、こんな鳥取をアピールしたい、鳥取の街を美しく飾りたい、そんな想いの人たちが集まっています。

今秋、駅前から若桜街道筋がハンギングバスケット(空中花だん)通りに生まれ変わります。これに合わせ「花と文化の街・鳥取」を全国に向けてアピールするため、鳥取のセントラルパークと呼ばれる旧袋川(若桜橋～智頭橋の土手)で、「夢フェスタ・ハンギングバスケットコンテスト」を開催します。また、市内の数ヶ所に「因幡の白うさぎ」「ブレーメンの音楽隊」などをテーマにスポットガーデン(素焼きの鉢などを活用して物語を表現したかわいい小さな庭)も造りたいと思います。きっと、市民のみなさんや訪れた人たちが、記念写真を撮りたくなくなるようなスポットとなるでしょう。

皆さんも一緒に「街は花回廊づくり」を楽しみませんか。



スポットガーデン